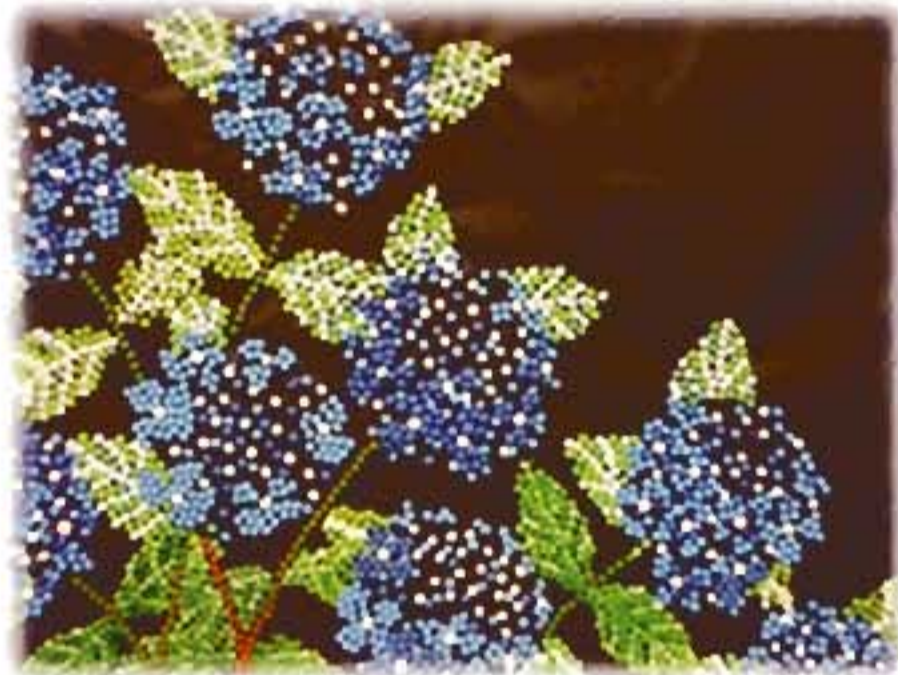


2010年
秋号

フ ラ ワ ー

フラワーハウス博多 ～開設20周年～



【デイケアご利用者 作「寒梅」と「紫陽花」】

二十周年を迎えて



フラワーハウス博多

看護・介護婦長 川本和子

平成二十二年十月二十四日、当施設は開設二十周年を迎えました。人に例えるならば成人を迎えたということになります。ご利用者ならびにご家族の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

振り返ると、介護保険が導入されて以来、施設の在り方も問われるようになりました。日々、社会情勢は変化し、我が国は急速な勢いで超高齢社会へと突入しています。介護の世界は看護と同様、職員の離職率も高く定着しません。しかし、看護や介護の世界は奥が深く、人との関わりで成り立ち、人が好きでなければ継続できない誇るべき仕事だと思えます。人は誰かの為に生き、役立つことで喜びを感じ、生きがいを感じてきます。皆様がいいてこそ感じられるものです。ですから、今一度、施設理念にあるよう「親を安心して任せられるケアサービスの実践」の原点に戻り、ご利用者の皆様の為に、ご家族の皆様と共に歩み、残りの人生を過ごしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



当施設には、様々な職種の職員が働いています。
それぞれの役割をご紹介します。

医師

ご利用者の健康状態を定期的に診察します。看護・介護スタッフなどからの情報を把握し、高齢者にとってもっとも危険な合併症や感染症の予防に努めています。ご利用者が少しでも自立した生活を送れるよう、多職種により立案されたケアプランやリハビリテーション計画、栄養ケア計画について、ご利用者やご家族に対し、医療面での指導や助言を行います。

栄養

栄養科の給食に関する理念は「ご利用者に適した安全で美味しい食事の提供」です。ご利用者の多くの皆様が食事を楽しみにされています。ご利用者に合った家庭的な料理の提供と嚥下や咀嚼力の衰えに配慮した安全な食事の提供を心掛けています。“栄養があっても食べてもらわなければ意味がない、食べてもらっても事故があっては意味がない”を合言葉に、皆様により良い食事の提供ができるよう頑張っています。



看護

施設では、生活全般に目を向けた看護を行っています。ご利用者の多くの方が何らかの慢性疾患をお持ちですので、小さな変化を敏感にキャッチし、異常の早期発見に努めています。また、介護スタッフへの適切な看護上の指示を行い、協力体制で業務にあたっています。「親を安心して任せられるケアサービス」をモットーに、技能の研鑽に励んでいきたいと思えます。

リハビリ

私たちリハビリスタッフは、ご入所されている方には「在宅復帰」を目標に、ご自宅から通って来られるデイケア利用の方には「より快適に日常生活が送れるように」を目標にリハビリを行っています。運動は楽しく！をモットーに皆さんとにぎやかにリハビリを行っています！

Flower 



介護

私たち介護職員は、身体介護はもちろん、ご利用者が施設でいかに楽しく、安心して過ごせるかを重点においてケアにあたっています。人は、育った環境や生活スタイル、価値観など様々であり、その方々が集団生活を送ることは簡単なことではありません。日頃よりご利用者との信頼関係を築き、小さな変化も見逃すことのないよう努めていきたいと思ひます。

相談

私たち支援相談員は、入所・退所されるご利用者、ご家族がその後の生活において、不自由なく過ごせるように病院の相談員や在宅のケアマネージャーと連携を図っています。介護保険の手続きなども行っています。また、ご利用者が困っていることや悩みを聞いて、できる限りご利用者が納得できるようにフロアスタッフと解決に向け話し合ひます。今後も、できる限り皆様のお力になれるよう頑張りたいと思ひます。

事務

当施設の事務員は現在5名で、受付、保険請求、総務、経理などの業務を行っています。普段、私たちは介護の現場にいませんが、介護・看護・相談・リハビリ・栄養など各職種の現場職員のおかげで、ご利用者やご家族にたくさんの感謝の言葉をいただいています。その皆様の「ありがとう」の一言が私たちの明日へとつながっているんだと感じています。私たちがご利用者のためにできることは限られていますが、少しでもその感謝の言葉に答えられるよう、フラワーハウス博多がご利用者にとって過ごしやすく、また職員にとって働きやすい施設となるよう励んでいきたいと思ひています。





夏祭り



7月31日、8月1日に1階の食堂で夏祭りを開催しました。ご家族の皆様にも参加していただき、盛大に行われました。あっといふ間の時間でしたが、ご家族と食事をしたり、ゲームをしたり、一緒の時間を過ごされ、皆様本当にイキイキした表情で楽しまれていました。



ゲーム



- *わなげ
- *射的
- *ヨーヨーすくい
- *ポケットボール



射的が大人気！
特に男性の方が的を狙う姿は男らしく凛々しいものでした★
皆さん幼少時代を思い出され、お菓子をゲットするために夢中で遊んでいました。
暑い毎日が続いていましたが、皆様のさわやかな笑顔とハツラツとした元気で暑さも吹き飛びました！

ナイスショット！



ビンゴ★お見事！



どれにしようか？



-露店-

- *焼きそば
- *たこ焼き
- *ミニドック
- *ウインナー
- *つくお串
- *山芋栗飯
- *スイカ
- *かき氷
- *アイス
- *わたがし
- *回転焼



職員も暑さに負けず腕をふるいました!



たくさんのご参加、ご協力のおかげで笑顔いっぱいのお祭りになりました。ありがとうございました♪

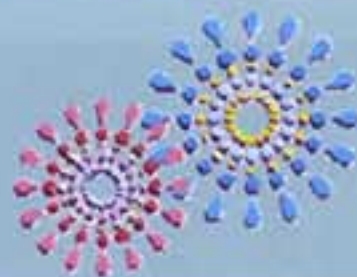
◎大抽選会◎

23番！私だよー!!



大当たり!





花火



8月12日・8月27日 花火を行いました。
夕立が続いており、天候が心配されていましたが、当日はいいお天気で、皆様楽しみにされていました。
きれいな花火に曇さを忘れて楽しんでいらっしゃいました♪



インフルエンザを予防しましょう



日増しに寒さもつのも、風邪やインフルエンザが心配な季節となりました。昨年は新型インフルエンザが大流行しました。インフルエンザは日頃からの予防と早めの対応が大切です。インフルエンザの症状は、急な発熱が特徴で38度～40度の高熱が出ます。さらに、倦怠感や筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。まずは、栄養と休養を十分にとり、なるべく人ごみは避けるようにしましょう。ウイルスは低温、低湿を好みますので、適度な温度、湿度を保ち、外出後は手洗いとうがいを忘れずに行いましょう。マスクの着用も効果的です。また、高齢者や心臓や肺に慢性の病気を持つ方は、重症化を防ぐために医師と相談の上、早めの予防接種が望ましいと思われます。

ご面会の皆様へお願い



施設にご入所されている方をインフルエンザや風邪から守るためには、私たち職員や外来者がウイルスを持ち込まないことが大切です。したがって、ご面会の際には、必ず手洗いをお願い致します。また、体調の優れない方はご面会をお控え下さい。施設内で風邪やインフルエンザ発症者等が出た場合は、当該フロアを閉鎖し、ご面会をお断りする場合がございます。感染拡大を防ぐため、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

❀ 委員会活動の紹介 ❀

私たちは、ご利用者に統一したケアを行うため、安心して快適に過ごしていただくため各階の問題点などを施設全体で考えられるよう委員会を立ち上げて活動しています。

【感染対策委員会】



委員長
山本 智美

ご利用者と職員の健康を守るため食中毒やノロウイルス、インフルエンザ等について勉強会を開催し、職員の予防の意識を高めます。

また、感染委員を中心に日頃から職員全員が手指消毒液を携帯し、感染予防に努めています。

【生活安全対策委員会】



委員長
中山 弘次

ご利用者が毎日の生活を安全に過ごせるよう、どのような問題をかかえているのかを考え、一人ひとりに合ったケア環境、福祉用具の提供ができるよう努めています。何かお気づきの点がございましたら、職員までお声かけ下さい。

【ケアプラン委員会】



委員長
浜辺 るみ

ケアプラン(施設サービス計画書)やカンファレンスについて現状の見直しを行い、改善を図っています。そして、各職種と連携を図り、ご家族のご協力のもとご利用者が自分らしく生活できるよう支援をしていきます。

【身体拘束廃止委員会】



委員長
原 史枝

拘束、高齢者虐待、プライバシー保護について、各階の委員が中心となり活動しています。認知症の理解を深め、入所者の思い、考えを尊重し、自分たちのケアを見直しながら、心地よく生活していただけるよう取り組んでいます。

【学習委員会】



委員長
水之江 直美

学習委員会では、委員が中心となって各階ごとにテーマをもうけて自由研究を行っています。また、他委員会と協力しながら事故防止、感染対策、急変時の対応などについて知識を深めています。

【給食・行事委員会】



委員長
野村 将之

給食・行事委員会では、衛生面、安全面に目を向け、皆様が安心して美味しく食事ができることを目標としています。また、夏祭り等の行事の計画を行い、お一人お一人が楽しく参加でき、実のあるものになるよう取り組んでいます。

【記録委員会】



委員長
中山 ゆり子

「誰が見ても分かりやすい記録を書き、職員間で情報を共有する」ことを目的として活動しています。ご利用者の日々の様子や変化、体調面について記載し、より良いケアを提供していく上で役立てていきます。

【広報委員会】



委員長
島崎 麻衣子

広報委員会では年に4回広報誌を発行して皆様のお元気なご様子をお知らせしております。ご利用者の思い出に残るような、ご家族に安心してもらえる広報誌を作成していきたいです。

家族交流会のお知らせ

**日時：平成22年11月13日(土)14時～
1階食堂にて開催します。**

このたび、5回目の交流会を開催することとなりました。開催のたびに皆様には、励ましの言葉や貴重なご意見をいただき、大変感謝しております。少しずつではありますが、ケアに反映させていただいています。

ご家族の皆様とお話させていただきますと、介護はとても大変だと思われる方が多くいらっしゃるように感じます。皆様の大切なご家族ですから、介護は簡単なことではありませんし、自分たちのケアを「これでいいのだろうか？」と悩んだりすることもあります。そのために、ご家族の皆様の貴重なご意見を参考にさせていただき、前回の交流会で行った自由研究などを行い、日々の課題に取り組んでいます。

ご利用者の方々がいつまでも自分らしくいられるよう、自分の意思を自由に表現できる環境を作っていきたいと思っています。そして、ご利用者の方々の希望や目標に近づけるよう日々のケアで意識し、ご家族と共に歩んでいきたいと思っています。

ぜひ、家族交流会にご参加いただきまして、皆様の思いをお聞かせ下さい。詳細につきましては、未定ですので決まり次第各階に掲示し、お知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

■施設案内地図



社会福祉法人 清風会 金隈老人保健施設 フラワーハウス博多
〒812-0863 福岡市博多区金の隈3丁目24番8号
TEL 092-504-3355 FAX 092-504-3851

ホームページアドレス
<http://www.seifu-kai.jp/>

■個人情報について

当施設では、年4回機関誌「フラワー」を発行して、ご利用者の皆様のご様子をお知らせしております。写真・氏名・年齢等を入れてご紹介しておりますが、差し障りがございましたら、各部署責任者、または個人情報保護相談窓口をご利用下さい。
<施設サービス>徳富 松本 川本
<居宅サービス>松岡